

2022年8月 全国百貨店売上高概況

2022年9月22日

I. 概況

1. 売上高総額	3,494億円余
2. 前年同月比(増減率)	26.1%(店舗数調整後/6か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	71社 187店(2022年7月対比±0店)
4. 総店舗面積	4,888,921㎡(前年同月比:-1.3%)
5. 総従業員数	55,383人(前年同月比:-3.0%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 6.4%、2-4月 7.4%、3-5月 22.8%、 (店舗数調整後) 4-6月 26.3%、5-7月 22.0%、6-8月 14.7%

[参考] 2021年8月の売上高増減率は-11.7%(店舗数調整後)

【特徴】

8月の売上高は26.1%増、入店客数は26.2%増と、共に二桁の伸びとなった。

8月は夏期休暇の帰省や旅行で人の往来が活発化したことから、新型コロナ感染状況がピークとなり、主要顧客の高齢層を中心に外出自粛傾向が見られたものの、前年の緊急事態宣言等による営業制限の反動や、各社が実施し好評を得た物産展やセールなどの企画催事、更には一部高級ブランドにおける価格改定前の駆け込みなども含め業績を下支えし、前年実績を上回った。しかしコロナ前との比較では、2019年比で14.1%減と前月より5.0ポイントダウンした。

顧客別では、国内市場は24.3%増(6か月連続/シェア97.4%)、インバウンドは水際緩和等から176.0%増(5か月連続/シェア2.6%)となった。2019年比では、国内市場が10.8%減だった一方、インバウンドは64.0%減と、実質的な商況の厳しさに変化はない。

地区別では、全地区で対前年増となり、大都市(10都市/11か月連続)が31.6%増、地方(10都市以外の地区/5か月連続)は12.4%増と、共に二桁伸びを示した。

商品別では、主要5品目全てで前年実績を超えた。特に、ラグジュアリーブランドや時計、宝飾品等高額品は増勢が続いており、美術・宝飾・貴金属は2019年実績も上回っている。衣料品や靴・鞆等のファッション雑貨は、盛夏アイテムに加え、秋物商材にも動きが見られた。オケーションニーズからフォーマル関連も好調だった。食料品は、帰省など手土産需要から和洋菓子が高い伸びを示した。生鮮食品は、不漁や大雨による葉物野菜の高騰などで苦戦したものの、前年比ではプラスに転じた。

新型コロナ感染者数は減少傾向にあるが、加盟各店では、感染防止対策に引き続き注力しつつ、これから本番を迎える秋冬商戦を前に、業績回復に向けた企画を積極的に進めている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇北・東日本日本海側と北日本太平洋側では、上旬から中旬にかけて前線や湿った空気の影響を受けやすかったため月降水量がかなり多く、月間日照時間が少なかった。西日本では、暖かい空気に覆われたため平均気温が高かった。

(2) 営業日数増減 30.7日(前年同月比 +0.2日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日(" -1日/日曜1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数108店舗)

①増加した：86店、②変化なし：20店、③減少した：2店

(5) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上(同上/有効回答数82店舗)

①増加した：27店、②変化なし：49店、③減少した：6店

全国百貨店 売上高速報 2022年8月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	349,481,514	100.0	26.1 (25.6)
10都市	260,810,141	74.6	31.6 (31.3)
札幌	9,178,097	2.6	25.9
仙台	4,684,024	1.3	18.4
東京	103,191,948	29.5	38.4
横浜	22,283,463	6.4	19.4
名古屋	23,860,670	6.8	23.5
京都	14,699,970	4.2	23.2
大阪	53,744,901	15.4	38.3
神戸	8,904,159	2.5	16.2
広島	6,521,449	1.9	18.5 (10.4)
福岡	13,741,460	3.9	31.1
10都市以外の地区	88,671,373	25.4	12.4 (11.2)
北海道	790,672	0.2	12.3
東北	3,714,598	1.1	4.4 (-0.8)
関東	39,783,012	11.4	15.6
中部	6,345,166	1.8	9.9 (-0.8)
近畿	13,669,813	3.9	4.1
中国	6,870,072	2.0	9.8
四国	4,049,489	1.2	18.5
九州	13,448,551	3.8	15.6

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	349,481,514	100.0	26.1 (25.6)
紳士服・洋品	14,977,726	4.3	22.5 (21.9)
婦人服・洋品	56,787,304	16.2	34.5 (33.6)
子供服・洋品	4,601,749	1.3	15.6 (14.9)
その他衣料品	5,592,450	1.6	15.5 (15.3)
衣 料 品	81,959,229	23.5	29.5 (28.8)
身のまわり品	54,765,248	15.7	38.9 (38.6)
化粧品	27,927,803	8.0	17.9 (17.9)
美術・宝飾・貴金属	36,144,033	10.3	34.7 (34.5)
その他雑貨	11,551,873	3.3	20.8 (20.4)
雑 貨	75,623,709	21.6	25.9 (25.7)
家具	3,808,260	1.1	14.4 (14.0)
家電	1,007,292	0.3	0.4 (0.4)
その他家庭用品	8,761,787	2.5	16.5 (15.2)
家 庭 用 品	13,577,339	3.9	14.6 (13.6)
生 鮮 食 品	18,092,611	5.2	4.6 (3.1)
菓 子	31,058,864	8.9	30.4 (29.8)
惣 菜	24,922,523	7.1	17.9 (17.4)
その他食料品	26,144,541	7.5	11.9 (11.3)
食 料 品	100,218,539	28.7	17.0 (16.3)
食 堂 喫 茶	9,177,229	2.6	64.8 (63.4)
サ ー ビ ス	5,482,551	1.6	67.7 (67.0)
そ の 他	8,677,670	2.5	8.6 (8.5)
商 品 券	5,669,644	1.6	-0.4 (-0.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	31.6% (店舗数調整後／11か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	12.4% (店舗数調整後／5か月連続プラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
10都市	31.6	22.6	11か月連続プラス
札幌	25.9	0.7	6か月連続プラス
仙台	18.4	0.3	6か月連続プラス
東京	38.4	10.3	12か月連続プラス
横浜	19.4	1.3	6か月連続プラス
名古屋	23.5	1.6	11か月連続プラス
京都	23.2	1.0	11か月連続プラス
大阪	38.3	5.4	11か月連続プラス
神戸	16.2	0.4	6か月連続プラス
広島	18.5	0.4	6か月連続プラス
福岡	31.1	1.2	11か月連続プラス
10都市以外の地区	12.4	3.5	5か月連続プラス
北海道	12.3	0.0	4か月連続プラス*
東北	4.4	0.1	4か月連続プラス*
関東	15.6	1.9	6か月連続プラス
中部	9.9	0.2	5か月連続プラス
近畿	4.1	0.2	2か月ぶりプラス
中国	9.8	0.2	5か月連続プラス*
四国	18.5	0.2	2か月ぶりプラス
九州	15.6	0.7	2か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、全ての品目でプラスとなり、衣料品、身のまわり品は11か月連続でプラスとなった。その他の品目は、子供服・洋品と生鮮食品が3か月ぶりにプラスとなったほか、美術・宝飾・貴金属が19か月連続、菓子、惣菜が12か月連続でプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	26.1	—	6か月連続プラス
紳士服・洋品	22.5	1.0	6か月連続プラス
婦人服・洋品	34.5	5.3	6か月連続プラス
子供服・洋品	15.6	0.2	3か月ぶりプラス
その他衣料品	15.5	0.3	5か月連続プラス
衣料品	29.5	6.7	6か月連続プラス
身のまわり品	38.9	5.5	11か月連続プラス
化粧品	17.9	1.5	6か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	34.7	3.4	19か月連続プラス*
その他雑貨	20.8	0.7	5か月連続プラス*
雑貨	25.9	5.6	11か月連続プラス
家具	14.4	0.2	5か月連続プラス
家電	0.4	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	16.5	0.4	2か月ぶりプラス
家庭用品	14.6	0.6	2か月ぶりプラス
生鮮食品	4.6	0.3	3か月ぶりプラス*
菓子	30.4	2.6	12か月連続プラス*
惣菜	17.9	1.4	12か月連続プラス*
その他食料品	11.9	1.0	2か月ぶりプラス*
食料品	17.0	5.3	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	64.8	1.3	6か月連続プラス
サービス	67.7	0.8	5か月連続プラス
その他	8.6	0.2	5か月連続プラス
商品券	-0.4	-0.0	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>